

令和 8 年度 第 1 回在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議

- 開催日時：令和 8 年 6 月 17 日 14:00～
 - 開催場所：阿南医療センター講堂
 - 参加者：
 - 阿南医療センター：院長補佐・部長、看護主任、ソーシャルワーカー
 - 徳島県歯科医師会：在宅歯科医療連携室（南部）
 - 健祥会バイエルン：施設長（特別養護老人ホーム代表）
 - ほっとピース：代表取締役（居宅介護支援事業所代表）
 - ライフサポートキムラ：代表取締役（小規模多機能型居宅介護代表）
 - 阿南南部高齢者お世話センター：社会福祉士（お世話センター代表）
 - 阿南東部高齢者お世話センター：社会福祉士（お世話センター代表）
 - 阿南市 地域共生推進課：課長、係長、主事
 - 阿南市 介護保険課：課長、課長補佐
 - 阿南市在宅医療・介護連携支援センター：センター長、看護師
- ※欠席者 3 名

今回の会議では、今後のケアカフェのテーマ設定と、在宅での看取りにおける入浴支援の課題について主に議論されました。

1. 今後のケアカフェのテーマについて

- **今年度確定テーマ**：ACP（人生会議）
- **追加テーマ（3 本柱）**：
 1. **施設と医療の連携**：特養や老健などの施設における医療の受け入れ基準の相違、病院から施設に戻る際の病名による受け入れ拒否問題など、お互いの理解と向上を目指す。
 2. **ACP（人生会議）**：詳細な議論を深める。
 3. **消防・救急搬送**：高齢者救急の搬送、介護施設での困りごと、DNR プロトコル（来年度から徳島県で開始予定）との関連など。
- **その他**：「バイタルリンク」の説明会を、いずれかのテーマの中で時間を設けて実施する意向が示された。

2. 在宅での看取りにおける入浴支援の課題

- **問題提起**：在宅での看取りを希望する利用者（寝たきり状態）が、訪問入浴サービスの利用が困難（阿南市ではセントケアが唯一だがパンク状態、他市町村も同様）であるため、清潔保持に課題がある。家族は自宅での看取りに強くこだわっている。
- **検討された代替案**：
 - 訪問看護と訪問介護の連携による部分浴やシャワー浴。
 - チェア浴（シャワーチェア）の導入（購入が必要）。

- ショートステイの利用（ただし家族は自宅での看取りを強く希望）。
- **結論:** 即効性のある解決策は見つからず、引き続き情報収集や検討が必要とされた。

3. その他情報共有

- 地域連携に関する**動画（4本シリーズ）**の紹介（施設での看取り、在宅での看取り、がんの場合など）。
- 琉球大学の医療職ではない金城さんによる**無料ウェブセミナー**（倫理に関する内容）の紹介。
- **誤嚥性肺炎に関するパンフレット素案**について、内容や表現に関する意見募集。

これらの議論に基づき、地域共生推進課・介護保険課から福祉事業所への情報提供と連携が依頼されました。

